

第2号様式の3

平成30年度第3回法務省総合評価委員会審議概要

開催日及び場所	平成31年2月21日(木) 15:30~16:15 法務省大臣官房施設課入札室		
委員	角田 茂 (大学参事) ※委員長 只木 誠 (大学教授) 遠藤 和義 (大学教授)		
審議対象期間	平成30年8月1日から平成30年11月30日まで		
【工事】	(備考)		
抽出対象案件	総件数 0 件		
類 型	技術提案評価型 S型		0 件
	施工能力評価型 I型		0 件
	施工能力評価型 II型(一般タイプ)		0 件
	施工能力評価型 II型(小規模タイプ)		0 件
【業務】	(備考)		
抽出対象案件	総件数 3 件		
類 型	標準型		0 件
	簡易型		3 件
委員からの意見 ・質問, それに 対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による 意見の具申又は 勧告の内容	具申又は勧告	回 答	
	なし	なし	

別紙

意見・質問	回答
<p>(議題) 総合評価落札方式の実施状況について</p> <p>特になし。</p> <p>(議題) 抽出案件の審議 平成30年度喜連川少年院改修(第2期)実施設計業務 [簡易型(短縮)]</p> <p>総合評価が適用となるのはどのような場合か。</p> <p>業者側がどのように業務の見積りを行っているのかはわかるか。例えば、発注者側が業者に対して内訳書の提出を求めることはないのか。</p> <p>平成30年度登記情報センター改修実施設計業務 [簡易型(短縮)]</p> <p>特になし。</p>	<p>競争入札において、原則総合評価を適用しています。</p> <p>低入調査の場合は内訳書を提出してもらいますが、予定価格内かつ調査基準価格以上である場合はそのような対応はしていません。したがって、発注者側は入札額しかわからず、その内訳や詳細の内容はわかりません。</p>